

芸術×医療×DMT

2022
8.27 [SAT]
28 [SUN]
WEB開催

日程

27日ニプレ・イベント

企画1 DMT Café 座談会

企画2 芸術×DMT アジアの芸術家三名の視点

28日ニ学術研究発表

企画3 医療×DMT 協会在籍医師三名の視点

参加費

27日ニ無料 非会員参加可能 要申込

28日ニ早割 7月31日まで 7000円 以降8000円

学生 1000円

申込み <https://jadta.org/conf/c31>

協会公式サイトより専用フォームにて



日本ダンス・セラピー協会大会事務局

taikai@jadta.org

演題募集

ポスター発表・実技発表 詳細次頁及び公式サイトを参照ください

4月17日募集開始 〆切7月9日

※ DMT: Dance Movement Therapy の略



Dance Movement Therapy

ごあいさつ

「ダンス/ムーヴメントセラピー」とは、人類の根源的なリベラルアーツの体現だと、私は思う。芸術、文学、医学、数学、科学、物理学…あらゆる学問がリエゾンし、その想像力が創造性を生み、「人」は「人」をケアできると信じているからだ。

本年度テーマの最も重要な点は、おそらく「×(カケル)」だ。それは、相乗効果(シナジー)を意味する。テーマからの「×」、身近なところから見いだされる小さな情報と、学術的側面からの「×」。誰かとの「×」。次代へつなぐ「×」。様々な方向性から、仮想空間ならではの新たな磁場が創生されることを願う。

そしてPinaが言うように、我々は踊り続けなければ、きっと道に迷ってしまう。※だからこそ、夏のおわりに、皆さまとお目にかかれそうですように。

第31回 JADTA学術研究大会 大会長
平山 ぐみ

※ Dance, Dance, otherwise we are lost : Pina Bausch
Wim Wenders Film 『Pina』より

ダンスセラピーの現場の実際は？ 普通のダンスとどう違う？。そんな皆さんの疑問をシェアしてみませんか。「こんな時どうしよう？」「こんな事があった！」など、各分野の臨床経験豊富なカフェマスターたちとざっくばらんに話しましょう。学会での発表とは違う、生の声でみなさんと情報をシェアするカフェの時間です。各ブースのカフェマスターはWEBサイトに掲載。
(参加無料・参加人数制限あり・要申込み)

- ROOM1: 医療・高齢者 (精神科/緩和ケア/認知症病棟/終末医療 等)
- ROOM2: 教育 (幼児教育/学校教育/発達障害 等)
- ROOM3: 障がい・子ども (知的障害/身体障害/発達障害 等)
- ROOM4: 地域コミュニティ (インクルージョン/親子問題/LGBTQ) 等

大会特別企画1
座談会

ダンス × セラピー
DMT Café

8・27
14:00 ~ 15:30

大会特別企画2
シンポジウム

芸術 × DMT
民族のカラダ
表現を読む

8・27
15:40 ~ 16:40

アジアのダンスアーティスト三名の視点

わたしたちダンス/ムーヴメントセラピストに必須のスキル、クライアントの「表現を受取ること」。これは、カラダを媒介にした「身体言語をどう読み取るのか」と、言い換えることもできるのではないのでしょうか。東アジアを拠点に活躍する芸術家3名をシンポジストにお迎えし、東アジアで育まれた身体性を通し「表現を読む」とは、アーティストの視点からどのような事を伺います。(申込時に、参加アーティストへの質問を受け付けます)

シンポジスト：岩下 徹 (舞踏家) / キム・ソニョン (舞踊家) / コウ・ヨンセ (舞踊家)
モデレーター：平山ぐみ

JADTA在籍 精神科医三名の視点

ダンス/ムーヴメントセラピーのはじまりは医療現場でした。人類の歴史から考えると、ダンスはヘルス(保健)的側面と、そこに包括されたメディカル(医学)的な部分を担ってきました。既に何万年という蓄積の中で培われた非言語コミュニケーションであるダンス/ムーヴメントについて、どのように活用できるのか、効果、効能はどのように表出するかなど、普段「診る」仕事をしている医師の立場から、身体表現を「観る」とは？ など、お話を伺います。
(申込時に、参加医師への質問を受け付けます)

シンポジスト：星野 仁 (美唄すずらんクリニック元院長) / 岩田 悠希 (姫野病院)
長谷川 雅文 (はせがわこどもクリニック)
モデレーター： 嶋山ゆかり (武庫川女子大学)

大会特別企画3
シンポジウム

医療 × DMT
ダンス/ムーヴメント
を医療から観る

8・28
13:00 ~ 14:00

演題募集 〆切 7月9日

オンライン学術研究発表の演題を募集いたします。ご応募おまちしています。
WEBサイトより演題申込みフォームにて、抄録(800文字)と共に申込みください。

- 実技発表 (オンラインで可能な実技)
実技45分 シェアリング15分
- ポスター (プレゼンテーションあり) 発表
プレゼンテーション15分 質疑応答 3演題で30分



実技発表
ポスター発表
演題募集